

ISSN 0439-1713

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要

第 127 号

令和4年3月

Bulletin of the Faculty of Education  
Hirosaki University

No. 127

March 2022

弘 前 大 学 教 育 学 部

Hirosaki, Japan

# 目 次

米子市立図書館所蔵の往来物資料について……………郡	千寿子 (1)
— 目的別と出版地域別の分類整理 —	
小学校入門期段階と就学時前教育とにおける……………田 中 拓 郎 (9)	
継ぎ目のない「言葉」の指導についての一考察	
— 国語科入門期説明的文章と科学絵本『かがくのとも』を例に —	
地域社会と新制中学校 (1) ……………高 瀬 雅 弘 (23)	
— 青森県西津軽郡鳴沢村における新制中学校の設立過程 —	
大学生時代の矢部貞治 (4) ……………大 谷 伸 治 (35)	
弘前からみる東北の近代化……………篠 塚 明 彦 (47)	
— 歴史総合における教材化の試み —	
隣接 $m$ 項間漸化式で定まる数列の下一桁の周期性 ……………山 上 佳 男 (57)	
	上 山 健 太
	田 中 義 久
ある非定常境界層問題に対する特殊解の存在について……………伊 藤 成 治 (67)	
保育園における理科実験の実施について……………杉 江 瞬 (77)	
— 一年長児に対する実験教室 —	長 南 幸 安
韓国における S T E A M 教育の実践事例の分析……………佐 藤 崇 之 (85)	
— 韓国科学創意財団およびその集積した実践事例から —	
F. ブレンデルの「楽派」概念：音楽史と音楽批評の接点としての「新ドイツ派」……朝 山 奈津子 (91)	
小学校低学年児童に対する運動プログラムの効果検証……………益 川 満 治 (103)	
～身体活動セルフエフィカシーと運動好意度からの検討～	杉 本 和那美
	戸 塚 学
	高 橋 俊 哉
	上 野 秀 人
	三 上 孝 志
	佐 藤 貴 史
異なる回数で酸洗浄したりんご剪定枝活性炭の物性……………廣 瀬 孝 (109)	
	芝 田 遼
	東 眞 央
	石 川 璃 久
	柴 田 涼
	山 岸 将 也
りんごおよびさくら剪定枝パルプを用いた機械漉き紙の物性……………廣 瀬 孝 (113)	
	八 島 光 勇
	山 科 則 之
青森ヒバ材の密度と振動特性に関する研究……………廣 瀬 孝 (119)	
	芝 田 遼
	朝 山 奈津子

りんご剪定枝パルプおよび楮パルプを用いた紙の物性……………	廣瀬孝 (123)
	八島光勇
	山科則之
ニセアカシアを原料とした活性炭の物性に関する研究……………	廣瀬孝 (129)
	芝田遼
	東眞央
	石川璃久
	柴田涼也
	山岸将
異なる混合率のさくら剪定枝で作製した紙の物性……………	廣瀬孝 (133)
	八島光勇
	東眞央
	山科則之
特別支援学校における教育課程編成及び個別の……………	天海丈久 (137)
指導計画作成に係る教員研修の効果	高橋寿
ー知的障害及び知的障害を併せ有する重複障害教育を中心にー	奈良岡孝信
	加賀谷紀
	岡田一也
	相馬力
	船水直樹
	飯野茂八
	石岡徳人
	工藤浩
	加福千佳子
	下山永子
	平川夕美子
座位姿勢の保持が困難なダウン症児の視覚活用の改善における……………	奈良理央 (147)
行動コンサルテーション実践の有用性	左舘泰大
	鎌田麻里
	加賀谷靖英
	増田貴人
自由保育を伝えるメディアとしての指導計画の有効性……………	武内裕明 (157)
ー0～5歳児生活内容研究会による指導計画の検討からー	
幼児期の仲間関係に関する研究の概観と展望……………	松本恵美 (167)
ー仲間関係に困難を抱える幼児に着目してー	
エビデンスに基づく政策と実践におけるポスト実証主義という道……………	桐村豪文 (177)

## 弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部 研究推進委員会 紀要編集担当

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 原則として各年度の10月及び3月の年2回 Web 版で発行する。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部または教職大学院の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて組上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは本委員会紀要編集担当が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が10ページを超える場合や図版の作製などに特別の経費を要する場合は、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷やCD-ROMを希望する場合は、投稿の際に必要な数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は電子化された論文を「弘前大学学術情報リポジトリ」にて公開する。

この規定は、令和2年11月から施行する。

## 弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したUSBメモリ、CD-R等を添付すること。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則として一つずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」と「原稿受領書」を添付し、本委員会紀要担当者に確認を受ける。

研究推進委員会 紀要編集担当

高 橋 俊 哉 (代表者)

大 谷 伸 治

桜 田 安 志

田 中 完

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要  
第127号  
(2022年3月)

令和4年3月29日発行  
編集兼発行者  
弘 前 大 学 教 育 学 部  
弘前市文京町1番地  
電話 (0172) 36-2111(代)  
印刷所 小 野 印 刷  
弘前市富田町52  
電話 (0172) 32-7471(代)

# CONTENTS

Investigation report on "OURAIMONO" documents ..... of Yonago City Library possession: A study based on the publication place and the purposeful classification analysis	Chizuko KOHRI (1)
An Investigation of Seamless “Language” Instruction at the Stage ..... of Introductory of Elementary School and Preschool Education: Exemplifying the Introductory Expository Text for Japanese Language Course and <i>Kagaku no Tomo</i> , a Scientific Picture Book	Takuo TANAKA (9)
Community and New Lower Secondary Schools (1) ..... —A case study on the process of building New Lower Secondary Schools in Narusawa, Aomori—	Masahiro TAKASE (23)
A Basic Study on Teiji Yabe's student days at Tokyo Imperial University (4) .....	Shinji OHTANI (35)
Tohoku region modernization from the perspective of Hirosaki ..... : For teaching materials in “Modern and Contemporary History”	Akihiko SHINOZUKA (47)
Periodicity of the last digits of sequences ..... defined by $m$ -term recurrence relations	Yoshio YAMANOUE (57) Kenta UHEYAMA Yoshihisa TANAKA
The existence of special solutions for some unsteady boundary layer problems .....	Shigeharu ITOH (67)
Practicing Science Experiments at Nursery School ..... “Experimental Workshop for Older Children ”	Shun SUGIE (77) Yukiyasu CHOUNAN
Analysis of Classroom Activities about STEAM Education in South Korea ..... By Analyzing KOFAC and Classroom Activities that Be Gathered in There	Takayuki Sato (85)
F. Brendels Schule-Begriff : Die neu-deutsche „Schule“ ..... am Schnittpunkt von Musikgeschichte und Musikkritik	ASAYAMA, Natsuko (91)
Verification of the effectiveness of the exercise program for children ..... in the lower grades of elementary school ～ Examination from physical activity self-efficacy and exercise favorability ～	Mitsuharu MASUKAWA (103) Kanami SUGIMOTO Manabu TOTSUKA Toshiya TAKAHASHI Hideto UENO Takashi MIKAMI Takafumi SATO
Properties of activated carbon from apple pruned branches ..... after washed with hydrochloric acid different times	Takashi HIROSE (109) Ryou SHIBATA Mao AZUMA Riku ISHIKAWA Ryou SHIBATA Syoyu YAMAGISHI
Properties of machine paper made from apple and ..... cherry trees pruned branches pulp	Takashi HIROSE (113) Mitsutoshi YASHIMA Noriyuki YAMASHINA
Properties of vibration of Aomori Hiba lumber with different densitiy .....	Takashi HIROSE (119) Ryou SHIBATA Natsuko ASAYAMA

Properties of paper from apple pruned branches pulp and mulberry pulp .....	Takashi HIROSE (123)
	Mitsutoshi YASHIMA
	Noriyuki YAMASHINA
Properties of activated carbon made from acacia .....	Takashi HIROSE (129)
	Ryou SHIBATA
	Mao AZUMA
	Riku ISHIKAWA
	Ryou SHIBATA
	Syouya YAMAGISHI
Properties of paper from Sakura pruned branches pulp .....	Takashi HIROSE (133)
with different mixing ratios	Mitsutoshi YASHIMA
	Mao AZUMA
	Noriyuki YAMASHINA
The Effects of Teacher In-service Training at School .....	Takehisa AMAGAI (137)
for Special Needs Education for Designing Curriculum	Hisashi TAKAHASHI
and Drafting Individualized Instruction Program:	Takanobu NARAOKA
Focusing on Education for Children with Intellectual Disabilities	Michi KAGAYA
and Multiple Disabilities	Kazuya OKADA
	Chikara SOMA
	Naoki HUNEMIZU
	Shigeya IINO
	Norihito ISHIOKA
	Hiroshi KUDO
	Chikako KAFUKU
	Nagako SHIMOYAMA
	Yumiko HIRAKAWA
A case report about the usefulness of behavioral consultation practices .....	Michioh NARA (147)
to improve visual utilization for a student with Down's syndrome having	Yasuhiro SADATE
some difficulties in keeping his seating posture	Mari KAMATA
	Yasuhide KAGAYA
	Takahito MASUDA
The effectiveness of guidance plans as a medium to convey jiyu-hoiku: .....	Hiroaki TAKEUCHI (157)
From the examination of the guidance plan	
by the Life Contents Study Group for 0 to 5 year-olds	
Review of studies of peer relationships in early childhood: .....	Emi MATSUMOTO (167)
Focusing on the child who has difficulty in peer relationships.	
The Path of Postpositivism in Evidence-Based Policies and Practices .....	Takafumi KIRIMURA (177)